

調査研究報告書 No.171
2018



若年非正規雇用労働者に対する在職者訓練
コースの設定、実施プロセスに関する
調査研究報告書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

ISSN 1340-2412

調査研究報告書 No.171
2018

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY

はじめに

今日の公共職業訓練は、対象者別に大きく離職者訓練、学卒者訓練、在職者訓練に分けられる。そのうち、自らが就職、再就職を目指し、訓練を受講する離職者・学卒者訓練と異なり、在職者訓練は、一般に企業内の社員教育の一環として、実施されていることが多い。

そのため、正社員に比べ、能力開発機会が少ないとされている非正規雇用労働者が正社員や処遇向上など、次のステップを目指すため、自身のスキルアップを行うには、平日の昼間を中心に実施されている職業訓練のサービスを受けることは困難である。

ひとくちに 1,980 万人（2015 年平均値）いるとされている非正規雇用労働者といっても、正社員を希望しながら正社員以外の雇用形態で働くいわゆる「不本意非正規」と呼ばれる者、企業内外で柔軟な働き方を維持しつつキャリアアップを望む者、家計の補助・定年退職（継続雇用）等の理由から、定期的・補助的業務で働くことを望む者の 3 パターンが考えられる。

本調査研究は、対象者を不本意ながら非正規として働いている若年者を中心としつつも、柔軟な働き方を維持しつつキャリアアップを望む者も対象とし、働きながらも安定的な雇用に向け、訓練を受講できるよう、土日、平日夜間に開講する在職者訓練コースを開発し、その試行、検証を行い、今後の全国展開を視野に入れ、訓練受講ニーズ把握から訓練の実施、評価までのプロセスを整理することを目的とした。

最後に、本調査研究・開発を進めるにあたり、訓練コースのあり方、カリキュラムのアウトライン、訓練評価・検証方法などを検討いただいた研究会委員及び具体的なカリキュラム・教材の開発、試行訓練の実施にご尽力いただいた作業部会委員並びに貴重なご意見を頂戴した企業人事担当、わかものハローワークなどの就職支援機関関係者に心より感謝を申し上げます。

2018 年 3 月

職業能力開発総合大学校

基盤整備センター

所 長 内 田 修一

目次

第1章 調査研究・開発の概要	
第1節 背景	3
1-1 非正規雇用労働者となった理由と概要	3
1-2 非正規雇用労働者と職業訓練	6
第2節 調査研究の概要	8
2-1 調査研究の概要、進め方	8
2-2 研究会・作業部会の設置及びスケジュール	9
第2章 若年非正規雇用労働者に対する訓練ニーズの把握	13
第1節 訓練ニーズの把握	13
1-1 先行して実施している都道府県の取組み	13
1-2 訓練受講者の特徴と受講ニーズ	15
第2節 人材等ニーズの把握	33
2-1 非正規雇用労働者を多く雇用する企業を 対象としたヒアリング調査	33
2-2 先行調査研究結果まとめ	34
第3節 まとめ	36
第3章 若年非正規雇用労働者向け在職者訓練コースの開発	
第1節 若年非正規雇用労働者向け在職者訓練コースの開発	39
1-1 訓練コース開発の概要	39
1-2 訓練分野の検討	43
第2節 試行訓練の実施	47
2-1 試行訓練の概要	47
2-2 試行訓練の広報・受講者募集について	47
2-3 試行訓練の実施結果	51
2-4 試行訓練検証のまとめ	64
第4章 今後の展開へ向けて	69
第1節 次年度以降へ向けての取組み	69
1-1 訓練コースの改善	69
1-2 訓練実施プロセスの検証	75
第2節 総括	77
2-1 本調査研究の成果	77

2-2	調査研究成果の今後の活用	78
2-3	最後に	78

巻末資料

- 資料1 わかハロ利用者向けアンケート調査票
- 資料2 試行訓練実施要項
- 資料3 試行訓練広報・受講者募集リーフレット（利用者向け）
- 資料4 試行訓練広報・受講者募集リーフレット（企業向け）
- 資料5 わかハロ等の就職支援機関用説明資料
- 資料6 試行訓練受講者アンケート調査票
- 資料7 試行訓練カリキュラム
- 資料8 追加カリキュラム